

弥富市事務事業評価シート 平成30年度実施事業対象

PLAN	No.	50	—	2	事務事業名	民間木造住宅耐震改修費補助事業	細事務事業名	民間木造住宅耐震改修費補助事業	公的関与	6	シート作成日	平成31年6月27日				
	課名	都市計画課			グループ	建築			担当課長名	梅田英明		シート作成者名	土方康寛			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 整備事業		<input type="radio"/> 5 施設の管理運営			事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 施設の建設		<input checked="" type="radio"/> 4 経常的事務事業						<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	政策目標	1 定住と交流、活力を生むやとみ			実施計画			事業の開始・終了							
		施策項目	住宅施策の推進			<input checked="" type="radio"/> 1 該当			年度 ~ 平成		年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
		主要施策	建築物の耐震診断及び改修の支援			<input type="radio"/> 2 非該当			根拠法令等		建築物の耐震改修の促進に関する法律					
	個別計画															
	事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どういう状態にしたいのか)										
		市が実施する民間木造耐震診断の結果、総合評価が1.0未満のもの。				市が実施する民間木造耐震診断の結果、総合評価を1.0以上にします。										
事業の内容	地震発生時における木造住宅の倒壊等による災害を防止するため、旧基準木造住宅耐震改修工事を実施する者に対し、1件最大100万円を限度とした補助金を交付します。															
成果指標	①	指標名	民間木造住宅耐震改修費補助事業													
		指標設定の考え方	地震発生時における木造住宅の倒壊等による災害を防止する。				単位	戸		②	指標名					
		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 ※ 年度	目標平成 30 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 ※ 年度	目標平成 30 年度		単位					
		実績	0	実績	1	目標	※	目標	5		実績			目標	※	目標
		目標	5	目標	※						目標	※	目標			
DO	予算費目	会計	一般会計				款	8	土木費		項	4	都市計画費	目	1	都市計画総務費
	直接事業費			平成 29 年度決算額				平成 30 年度決算額				平成 ※ 年度予算額				
		国・県支出金		千円				750 千円				千円				
		地方債		千円				千円				千円				
		その他特定財源		千円				千円				千円				
一般財源		千円				250 千円				千円						
計(A)		0 千円				1,000 千円				0 千円						
人件費(B)	正職員工数・経費		0.100 人				0.152 人				人					
			690 千円				1,049 千円				0 千円					
	臨時職員工数・経費		0.009 人		14 千円		0.009 人		14 千円		人		0 千円			
全体事業費(A+B)		704 千円				2,063 千円				0 千円						

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は少ない。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ	旧基準で建築された住宅の耐震改修を促進するために必要です。		<input type="radio"/> はい
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性がない。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい			<input checked="" type="radio"/> いいえ
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input checked="" type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ	<input checked="" type="radio"/> はい			<input type="radio"/> いいえ
	4. 住民ニーズの低下がみられる。または、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい			<input checked="" type="radio"/> いいえ
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ	耐震性が確保され、一応倒壊しない建物となります。		<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ			<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ			<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ			<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っている。					<input checked="" type="radio"/> 目標に比べて劣っている	耐震診断は実施されても、耐震改修まで実施されるのが少ないのが現状で、平成28年度末で24件の実績となっています。		<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	<input checked="" type="radio"/> あまり上がっていない	
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていない。					<input type="radio"/> あまり上がっていない			<input type="radio"/> 概ね達成している	<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している	
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成している。					<input type="radio"/> 概ね達成している			<input type="radio"/> 十分達成している	<input type="radio"/> 十分達成している	
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成している。					<input type="radio"/> 十分達成している					
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ	耐震改修後は、耐震性が確保された建築物となり、倒壊の危険がなくなります。		<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ			<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ			<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ			<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 3	有効性 4	達成度 1	効率性 4	総合評価 B	必要性 3	有効性 4	達成度 2	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 3 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止		
	当面の課題	耐震診断実施者の耐震改修工事実施への移行率が低いこと、住民ニーズのバランスを取りながら効果を上げることが必要です。					二次評価での指摘事項(部長の総括意見)				
課題解決のための改善計画	耐震改修工事により建築物の倒壊を防止し、生命の安全確保ができることを耐震診断実施者に理解してもらい、耐震改修補助事業の利用を促します。また、耐震診断実施者の反応を見ながら、30年度から補助上限が100万円となった耐震改修費補助金と耐震シェルター整備費補助金の予算バランスを検討します。					木造住宅耐震診断、耐震改修工事の必要性、重要性について、理解を得るために住民に対し更に説明をし、事業の実施を進める必要があります。					
備考											